



平成26年2月  
第21号

# 伊佐市 議会だより



## 意見交換会（羽月北校区）

### 目次

- 補正予算概要 ..... P 2 ～ P 3
- 委員会報告 ..... P 4 ～ P 5
- 決算審査特別委員会報告 ..... P 6 ～ P 7
- 総括質疑・議決結果・臨時会 ..... P 8
- 一般質問 ..... P 9 ～ P 15
- 意見交換会報告 ..... P 16 ～ P 19
- 議会を視聴して・編集後記 ..... P 20

# 000万円 追加(総額164億6,000万円)

※主な補正内容・概算額で表示



大口中学校 校庭内の築山

## 教育環境の整備



中学校再編に向けた施設整備

**3,400万円**

校舎増築に向けた事前工事を実施

変電施設移設工事 2,300万円

築山造成工事 1,100万円

## 交通安全



高齢者の免許返納者に贈呈する商品券(拡充)

**240万円**

運転免許証の自主返納者へ贈呈するタクシーチケット・商品券(3万円分)を80名分増額

## 障がい者支援



障がい者の地域移行・地域定着支援に係る介護給付事業費を増額

**2,000万円**

障害者の地域生活支援に係る給付費を増額 国県補助 1,463万円

## 子育て支援



私立保育園の運営支援増額 **3,200万円**

0歳児保育や保護者の就労・出産等による保育入所希望の

増加への対応 国県補助 643万円

0歳児出生数 H 24.4.1 193人 H 25.4.1 215人



## 地域振興



平成32年度鹿児島国体カヌー競技会場の整備【新規】 **300万円**

菱刈カヌー競技場(湯之尾)周辺整備のための土地取得に係る業務委託

# 第4回 定例会

## 一般会計補正予算 2億4,

### 社会資本の整備

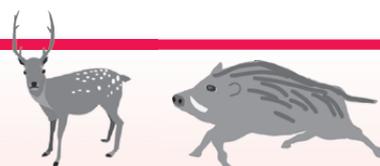
池田市有林の林道専用道（獅子間野線）を整備 H 25 完了へ

**2,400万円**

森林整備・林業木材産業活性化（ふるさとの森再生）事業

池田市有林の林業専用道（3,296 m）の平成 25 年度での全線開通を目指し工事費を増額

### 鳥獣被害対策



鳥獣被害防止対策としてイノシシ・シカ捕獲を強化

**370万円**

（狩猟期）平成 24 年度実績により捕獲報償費を

・300 頭分増額（1 頭当たり 3,000 円） 90 万円

（狩猟期外）鳥獣被害防止緊急捕獲等対策を実施

・シカ捕獲見込 200 頭・イノシシ捕獲見込 150 頭（1 頭当たり 8,000 円） 280 万円

### 公共施設の整備

徳辺中央公民館の整備費用

**500万円**

旧徳辺保育所を公民館として整備するための費用を徳辺集落運営委員会へ補助

### 農業振興

経営体育成交付金事業（新規）

**3,300万円**



適切な「人・農地プラン」を作成した地域向けに個別経営体の施設等の融資残について補助

平成 25 年度から国直轄事業から間接補助事業に変更 県補助 3,258 万円

野菜価格安定対策

**380万円**

金山ねぎと南瓜の生産者の経営安定と産地銘柄確立を図る事業資金を造成（基金 4,000 万円）

金山ねぎは H 24.4 月・H 25.1 ~ 3 月、南瓜は H 24.7 月の安値が影響。

新規就農者育成支援

**300万円**

青年就農給付金（経営開始型） 本年度開始 1 人 12 月開始予定 2 人 県補助 300 万円

# 各委員会報告

## 主な質疑と内容

### 総務産業委員会

#### 総務課

#### リーダー養成

#### 研修助成40万円

**Q** 次世代を担うリーダー養成塾の開校とは。

**A** 平成26年度事業として、公益法人沖縄県文化振興会理事長平田大一人氏を塾長とする平田塾を開塾予定であり、想像力と豊かな人間性を備えた次世代を担う人材を養成する目的である。その前段階として、プレ講演会を計画している。300人程度市内の若者を寄せて講演会を開催、その中から60人ほど希望者を募る予定である。



#### 林務課

#### 鳥獣被害防止対策費用280万円

**Q** 狩猟期外の捕獲は実績に応じて支払われるのか。

**A** 県鳥獣被害防止緊急捕獲等対策協議会からの交付金である。猟友会からの報告により実績で支払う。計画では、1頭当たり8000円で、イノシシ150頭・シカ200頭。支払時期は最終的に3月でまとめて4月支払いを考えている。対象期



▲有害鳥獣処理施設

間は、平成25年4月1日から10月31日までと、狩猟期間後の3月15日以降年度末までとする。

#### 地域総務課

#### 菱刈庁舎内工事請負費50万円

**Q** どのような改修を行うのか。

**A** 庁舎3階の第2会議室と教育委員会書庫の間の

壁を撤去し一つのフロアにする。平成26年度組織再編に係る社会教育課と文化スポーツ課の移転による改修工事である。

#### 農政課

#### 経営体育成交付金事業3300万円

**Q** どのような事業か、また以前からあったのか。

**A** 平成23・24年度は国の直轄で、直接農政局に申請するものであったが、25年度は国の間接事業となり、県・市を通して支出されることになった。人・農地プランに位置づけられた中心経営体等が融資を受けて農業用機械や施設の導入などを行う時に経費を支援するものであり、現在補助対象者が新規就農者8人・認定農業者7人となっている。

#### 企画調整課

#### 鹿児島国体カヌー競技場周辺整備に300万円

**Q** 平成32年開催の予定であるが、整備に何年ぐらい予定しているのか。

**A** 市道整備のための土地取得費用である。まず、土地取得を2年以内に済ませ、あと2年で市道のつけかえ、そして護岸堤防の工事を行うので遅くても平成30年度にはカヌー場として整備が出来ればと考えている。



▲カヌー競技のようす

**Q** 市民にとってわかりづらい事にならないか。

**A** 課の名称変更は市民にわかりやすくするためである。第1係、第2係という係名にした一番の狙いは、内部の業務が係だけの枠にとられず、みんなでも対応できる仕組みを作ろうとしたことである。横の連携を図り全体的な政策としてみんなで取り組んでいく。行政改革大綱のもと、スリム化して効率性を図る目的であり変更を理解して頂くよう市民への説明はしっかり行っていく必要があると考える。



楠木川溪流自然公園の指定管理について

Q 何社の申込みがあり、どのような経緯で決めたのか。

A 3社の申込みがあった。審査内容として、経営方針について明確なビジョンがあるか、施設管理体制がしっかりしているか、サービス向上を図る方策があるか、個人情報保護体制が整っているか、災害発生時の危機管理の対応策がとられているかについて、それぞれ項目ごとに9人の委員が5点満点の計450点満点で審査を行い、点数上位が決定した。尚、この内容については市のホームページに全部掲載してある。

文教厚生委員会

教育委員会総務課

大口中央中学校整備に3400万円

Q どのような工事内容か。

A 校舎増築に伴う築山の撤去に1100万円、電気を高圧から変圧して使用する受変電設備を北側の特別教室の近くに移送する配線工事が2300万円である。

社会教育課

文化財管理費を139万円減額

Q 減額した理由は。

A 発掘された遺跡は1基のみであったため、実測委託が不要となった。今後は書籍で保存する。

各コミュニティ集会所施設の指定管理委託費の補正



▲羽月西青少年センター

Q 25年度までと今後3年間の限度額を比較するとどうなるか。

A 25年度までの3年間の平均値と消費税が8%に上がることで、それぞれの施設の修繕関係が増えることから約1.05倍の伸び率になる。

環境政策課

リサイクルプラザ衛生センター修繕

Q その内訳は。

A リサイクルプラザの粗大ごみの破砕機監視カメラに105万円、衛生センターの落雷による修繕が609万5千円である。

給食センター

米飯給食が増えた

Q 光熱水費12万円の増額理由は。

A 昨年度までの米飯給食は月、水、金だったが、本年度は毎月第4木曜日にも米飯給食にした。

補助金

493万5千円

Q 徳辺公民館として旧徳辺保育所を整備するが、その内容は。

A トイレ、雨漏り、調理室の改修。現在の徳辺公民館の解体と整地費用である。

Q 整備してから無償譲渡するのか。

A 当初、整備してから無償譲渡する考えだったが、地元で整備した方がいいということで無償譲渡した後、補助金を出すこととした。

福祉事務所

児童発達支援に639万円

Q 放課後等デイサービスの増額の理由は。

A 当初20人ほどを予算化していたが、現在ステッブに30人、始良市のクジラに1人と利用者が増えた。



▲衛生センター



▲大口リサイクルプラザ



▲整備がまたれる旧徳辺保育所

# 平成24年度 一般会計など8会計決算を認定

## 審査内容

決算審査に当たっては、平成24年度一般会計、特別会計ともに歳入歳出決算書、主要な施策の成果説明書に基づき、7日間にわたり各課ごとに説明を求め審査を行いました。決算の審査結果は第4回定例会で報告され全ての決算案が認定されました。

### 現地調査対象箇所

- 建設課
  - ・西水流団地21号棟外壁等改善工事
  - ・曾木の滝下荒田線道路改良工事24・1
- 地域振興課
  - ・曾木の滝公園駐車場整備工事
  - ・曾木の滝公園多目的トイレ等整備新築工事
- 文化スポーツ課
  - ・文化会館舞台音響設備改修工事
- 農政課
  - ・基盤整備促進事業
  - 重留地区24・1・24・2

### ○平成24年度一般会計・特別会計決算状況

(単位：千円)

区 分	歳 入 (A)	歳 出 (B)	差引額 (C)	翌年度へ繰越すべき財源 (D)	実質収支 (C)-(D)=(E)	
一 般 会 計	16,077,033	15,423,951	653,082	226,185	426,897	
特 別 会 計	国民健康保険事業	4,396,548	4,394,863	1,685	0	1,685
	介護保険事業	2,983,311	2,963,495	19,816	0	19,816
	介護サービス事業	23,766	14,328	9,438	0	9,438
	後期高齢者医療	420,712	418,762	1,950	0	1,950
	簡易水道事業	699	616	83	0	83
	農業集落排水事業	188,173	187,794	379	0	379
	小 計	8,013,209	7,979,858	33,351	0	33,351
合 計	24,090,242	23,403,809	686,433	226,185	460,248	

- 福祉事務所
  - ・子ども交流支援センター
  - ・針持小学校プール改築工事
- 教育委員会総務課
  - ・トータルサポートセンター

### ○水道事業会計決算状況

(単位：円)

区 分	収 入	支 出
収 益 的	375,495,710	336,161,237
資 本 的	62,103,000	187,810,496

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 125,707,496 円は、減債積立金 54,000,000 円と建設改良積立金 10,000,000 円、当年度消費税資本的収支調整額 3,847,252 円及び過年度分損益勘定留保資金 202,247,340 円のうち 57,860,244 円で補てんされている。



福祉事務所：子ども交流支援センター  
笑（すまいる）

## 審査を通じての 指摘事項

(主な事項抜粋)

### 環境政策課

ごみ不法投棄対策を実施しているが、管理体制の強化に努められたい。啓発活動も検討してほしい。

### 農業委員会

高齢化で田畑の耕作放棄地が増加し、鳥獣被害が出ており、農政課・林務課との連携を取り合う施策の検討をされたい。

### 地域振興課

市内在住者の若年層にも空き家改修支援を検討されたい。菱刈交流館は指定管理も含めて運営のあり方を検討してほしい。地域振興課所管の行政財産について、今後の有効活用を検討してほしい。

### 健康増進課

各種健診の受診率向上に努力してほしい。自殺予防体制の強化を図っていただきたい。

○主要な財政指標

(単位：千円 %)

区分	平成24年度	平成23年度	類似団体	
財政力指数 (3ヶ年平均) ※1	0.34	0.34	0.42	
標準財政規模	9,756,247	9,915,183	10,630,502	
基準財政収入額	2,730,769	2,716,958	3,330,913	
基準財政需要額	7,789,111	7,958,763	8,198,953	
経常一般財源収入額	9,183,916	9,502,044	10,057,645	
実質収支比率 ※2	4.4	5.3	6.3	
経常収支比率 ※3	87.1	85.8	89.0	
実質公債費比率 ※4	13.1	13.8	13.8	
地方税 徴収率	現年課税分	98.0	98.1	-
	滞納繰越分	12.4	15.1	-
	合計	90.8	91.2	-
地方債残高 (特定資金を除く)	13,585,418	13,904,278	567,571	
債務負担行為額	1,454,630	1,673,053	52,146	

※1 【財政力指数】

基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た値の3年間の平均値。高いほど財源に余裕があるとされる。(1以上であれば財政力が極めて強い)

※2 【実質収支比率】

標準財政規模に対する実施収支額の割合。

概ね3%~5%が望ましいとされる。

※3 【経常収支比率】

経常的な経費に経常的な一般財源をどれだけ充当したかを示す。70%~80%が標準とされる。

※4 【実質公債費比率】

市税・普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、公債費や公営企業債に対する繰出金など公債費に準ずるものを含めた公債費相当額に充てられた額の占める割合の3ヶ年平均値。18%未満が望ましい。

○健全化判断比率

(単位：%)

実質赤字 比率	連結実質 赤字比率	実質公債費 比率	将来負担 比率
- (13.37)	- (18.37)	13.1 (25.0)	18.8 (350.0)

※ 実質赤字額は又は連結実質赤字額が無いため比率は「-」と記載

※ カッコ内は、本市の早期健全化基準値である。

**教育委員会総務課**  
奨学金の回収を努力されたい。学校図書館の司書補の役割は重大であるので、司書補の確保を考慮してほしい。

**学校教育課**  
スクールカウンセラーの一層の充実を図られたい。

**社会教育課**  
図書の利用が図られる施策を検討されたい。

**農政課**

野菜の伊佐ブランド化の認証に取り組まされたい。野菜価格安定対策事業では、近年の気象を研究して平均販売価格や生産コストでの適正な価格補償単価の設定に取り組んでほしい。

**福祉事務所**

保育料の徴収金については収入未済額回収を図られたい。民生委員・児童委員に対する支援の充実を図られ、活動しやすい状況をつくっていただきたい。

**長寿支援課**

高齢者対策としてリーダーを育成していただきたい。施設の管理運営について、開館時間、閉館時間を検討してほしい。

**企画調整課**

自治会の再編成と自治会未加入者の加入促進に力を注がれたい。

**税務課**

税の口座振替の奨励を進められたい。

**建設課**

住宅資金の回収で、債権者および信頼関係の構築を心がけ、回収に励んでほしい。

**林務課**

森のめぐみづくり事業は、補助金の事業成果について把握をされたい。



文化スポーツ課：文化会館大ホール

一般会計決算審査特別委員会委員

委員長	山下 和義
副委員長	森田 幸一
委員	森山 良和 今村 謙作 前田 和文 畑中 香子 中村 周二 岩元 克頼

## 第4回定例会 総括質疑

発 言 者	質 疑 事 項
岩元克頼議員	議案第75号 伊佐市課設置条例の一部を改正する条例の制定について 議案第77号 伊佐市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
鶴田公紀議員	議案第75号 伊佐市課設置条例の一部を改正する条例の制定について
柿木原榮一議員	議案第69号 平成25年度伊佐市一般会計補正予算（第4号）

## 第4回定例会 議決結果一覧表

議案番号	件 名	議決結果
60	平成24年度伊佐市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
61	平成24年度伊佐市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
62	平成24年度伊佐市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
63	平成24年度伊佐市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
64	平成24年度伊佐市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
65	平成24年度伊佐市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
66	平成24年度伊佐市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
67	平成24年度伊佐市水道事業会計決算認定について	認 定
69	平成25年度伊佐市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
70	平成25年度伊佐市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
71	平成25年度伊佐市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
72	平成25年度伊佐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
73	平成25年度伊佐市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
74	平成25年度伊佐市水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決
75	伊佐市課設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
76	伊佐市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
77	伊佐市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
78	伊佐市ひとり親家庭等医療費助成条例及び伊佐市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
79	伊佐市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
80	伊佐市衛生センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
81	伊佐市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
82	伊佐市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
83	西太良地区コミュニティセンターの指定管理者の指定について	原案可決
84	羽月地区公民館の指定管理者の指定について	原案可決
85	田中校区集会施設の指定管理者の指定について	原案可決
86	湯之尾校区集会施設の指定管理者の指定について	原案可決
87	本城校区集会施設の指定管理者の指定について	原案可決
88	羽月西青少年センターの指定管理者の指定について	原案可決
89	牛尾青少年センターの指定管理者の指定について	原案可決
90	山野基幹集落センターの指定管理者の指定について	原案可決
91	菱刈菱泉センターの指定管理者の指定について	原案可決
92	平成26年度から平成27年度までにおける伊佐市の辺地に係る公共的施設の総合整備に関する財政上の計画策定について	原案可決
93	伊佐市過疎地域自立促進計画の一部変更について	原案可決
94	財産の無償譲渡について	原案可決
95	平成25年度伊佐市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
96	地方税における延滞金等の割合の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
97	楠本川溪流自然公園の指定管理者の指定について	原案可決
98	教育委員会委員の任命について	同 意

### 【陳情】

2	伊佐市立南永小学校児童数増加対策についての陳情書	一部採択 一部不採択
---	--------------------------	---------------

## 臨 時 会

平成26年1月23日に平成26年第1回臨時会を開き、議案1件が原案のとおり可決されました。

議案番号	件 名	議決結果
第1号	平成25年度伊佐市一般会計補正予算（第6号） ※中学校再編に向けての校舎整備	原案可決
総括質疑	発言者 岩元克頼議員	

# 市民生活の向上をめざし 一般質問14人

## 小水力発電の拡大を

市長／先導的役割を果たす  
岩元克頼 議員



**問**

今後、小水力発電にどう取り組むか伺う。エネルギー供給上の役割をどう考えるか。合併後のエネルギー賦存量調査の有無。小水力発電の将来性。

発電所設置拡大に係る施策と課題。

**答**

再生可能エネルギーの中で最も安定した電力供給源だが設置が進んでいない。伊佐市独自の賦存量調査はないが、日本工営(株)が市内六ヶ所(曾木、湯之尾、轟、十曾、布計、井立田)を調査。平成27年4月まで細部については公表しない契約となっている。将来性としては、現在稼働中の曾木を除く5ヶ所について事業化できるか未定だが、今後は農業用水路の活用も考えられる。

**問**

小水力の場合、水利権、土地利用調整に難点があるが、稼働率の高さ、耐用年数の長さ、水量と落差があればいつでも発電できる。行政は小水力発電促進に先導的役割を果たすべきだ。また、旧大口市時代の新エネルギービジョン中の水力賦存量につ



いて十曾はじめ再調査した方が良いのではないか。県小水力発電協議会が県内40ヶ所を計画したが伊佐市も入っているか。

**答**

賦存量調査については、日本工営の調査があるので同社と協議しつつ進めるのが現実的だ。エネルギー政策の一環として、行政は先導的役割を果たすべきだと考える。今は小さな一歩だが将来は大きく前進させたい。また教育的効果も大きい。県小水力発電協議会の計画40ヶ所に伊佐市は含まれていない。

**問**

平成27年度に、霧島市と薩摩川内市で木質バイオマス発電が稼働する。間伐が行われ、その残材が山に放置されたままとなっている。これを、木質バイオマス発電へ提供し



えている。

## 木質バイオマス発電へ 間伐材の利活用を 市長／交付金等を検討 久保教仁 議員



これは、中規模・大規模農家を対象にした国の施策に対応できない。伊佐市農政の問題点だ。少なくとも集落営農を育てるべきだ。その意志はあるのか。

**問**

コメ政策への対応は

**答**

経営所得安定対策としてゲタとナラシがある。この支援策は、平成27年度から認定農業者・集落営農・認定就農者に限られる。必然的に助成を受けられない地域・農業者が多くなってくる。現状はどうか。

集落の中で、合意形成していただき、中心になる方々・サポートする方々で協力していただき、集落営農組織の育成を指導していく。

**答**

搬出するだけに補助するというのは難しい。管内の森林所有者・林業事業者の理解をいただき、森林経営計画を作成し、地域活動支援交付金等で対応していくことになる。搬出・運搬については、地域活動支援事業の中で木材を搬出した代金で賄えると考

**答**

25年度の認定農業者は193人、集落営農が13組織、認定就農者3人である。



# 汚泥再生処理センター について

市長／地元の要望は尊重する  
沖田 義一 議員



は協議会をつくり常時意見交換会等も行い対応している。放流水、騒音、振動、悪臭等については自主基準を設定し万全をつくす。



土瀬戸曾木の滝線

る。この道路は過疎計画に入っている。全面改良となると地権者の協力が必要となるが、いづれにしても、道路改良はやっていく。地元の方々の要望を聞く場を作っていく。

## 新たな米政策について

**問** 政府は米の生産調整の廃止や、補助金廃止を決定した。伊佐の農業について伺いたい。

**答** 農家所得を維持する為には、飼料米等を集団であるいは団地化できるかにかかっている。伊佐市のような土地利用型の農業地帯については、水田をいかに活用するかである。

**問** 再生処理センターの建設される深川自治会の真ん中を貫通している市道土瀬戸曾木の滝線は建設から38年経過し、カーブも多く路面が波打っている所も多く、チップ工場へ木材を積んだ大型車も通る。振動、騒音もひどく離合も困難である。幅員を広げて整備してほしいという要望もある。

**問** 水田をフル活用するには鳥獣対策が必要である。

**答** 鳥獣対策については資材費の助成もある。これらを活用して捕獲や網による防護に尚いっそう努力していく。

**答** 基本計画に基づき順調に推移している。又、周辺の3自治会と



# 改正生活保護法の 対応は大丈夫か

市長／柔軟な対応で相談、申請、決定を行う  
柿木原 榮一 議員

## 湯之尾地区の旧河川の濁りにについて

**問** 湯之尾地区の十月二十八日の夕方旧河川にゴリ・魚の変死の通報に対して、概要を聞きたい。

**答** タンクに新たにオーバードローを止めるインターロック（安全装置）をつけ、異常時は温水ポンプを自動的に停止したい。下流のチスジノリの自生状況は、毎年、映像で報告を受けているが影響はない。

**答** 午後六時頃、河川が赤褐色、赤茶色に濁っているのを確認した。魚の屍骸はなかった。菱刈鉦山と川内川事務所で採水して、湯之元橋下でヒ素〇・一二mg/Lを検出し、約四五立米が流出した。

その他の質問  
○学力向上と色覚検査について  
正月明けに、中学生に「土曜ぼっちり基礎講座」を開く。色覚検査は希望者には、行っている。

**問** 菱刈泉熱開発(有)タングの異常時の対応・水環境生態の保全は大丈夫か。

**答** 生活保護の変更決定に不服の場合は、福祉事務所で対応する。



# 若者が伊佐に帰って きやすい支援策

市長／まずは声を聞いていきたい  
森山良和 議員



**問** 若い人たちの中には、伊佐市を離れたくて離れているわけではないという方もいる。福岡や大阪、関東圏などに学ぶ場を求め、また目標実現を求めるなど、それぞれに事情を抱えて進学や就職のために行っている。若い人た

ちでも、ふるさとを強く思い、伊佐に帰ってきたいと考えている方々はたくさんいると思う。若い人たちが再びふるさとに帰ってきやすい環境づくり、支援策は何かできないだろうか。

**答**

若い方が何をするためにこのまちに帰ってくるかということが明確にならないと、支援策というのは打ちようがない。何をするためにこのまちに帰ってくる、住むという、そのことをお聞かせいただきたい。それに対してどのような支援ができるかということではないか。まずはご相談いただきたい。

## 社会教育のさらなる充実

**問**

子どもたちや若い人たちは、自分たちの生まれ育ったまち、地域の現状などを知る、そういう機会が少ないように感じる。地元を知る活動を市民一体となつて行えるよう、社会教育のさらなる充実を図るべきではないか。

**答**

自分が生まれた地域、育つ地域をよく知るといふことは、子どもたちの成長において非常に重要な問題だと考える。学校、地域で応えていけるように、また、子どもたちの活動をより質の高いものにしていけるように考えたい。学校、社会教育問わず、その地域を知り、いろいろな活動をしていくことが大事だと思う。



「レインボーキッズいさ」活動



# 生かせ地元の声 牧場整備

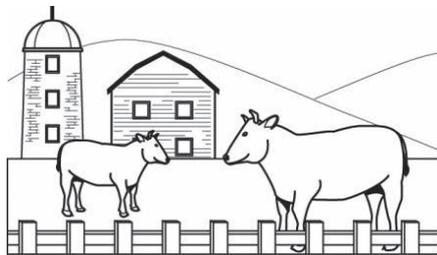
市長／地域の要望を代弁していく  
緒方重則 議員

**問**

旧大口育成牧場内の整備について、平成25年から27年までの3カ年計画で一億円超の金額をもって鹿児島県地域振興公社が、牧草地・隔障物・畜舎の整備等を行う事となっているが進捗状況はどうか。

**答**

現在、測量設計を発注し、土砂流出防止対策や隔障物・草地整備・牛舎建築等の設計を行っている。本年度は、地元集落の要望等を考慮し、水質汚染防止基盤整備（土砂流出防止対策）や食害防止による牧養力強化、放牧牛管理のための隔障物・家畜排せつ物処理のためのホイールローダー導入などの発注・完成を計画しており、5,000万円ぐらいの執行になる見込みである。今後、



**問**

関係する自治会に對して情報提供がないことから、不安を募らせている。今後の進捗状況について、どの様に説明していくのか。

**答**

今後、工事発注が始まれば2週間おきに工程会議を行う事になっている。振興局や市職員が随時出席して現場の打合せをする。会合等の内容についての報告は担当課長が口頭でお知らせしていくのであれば差し支えないと考える。また、工事状況や関係する河川の汚濁等については、市の方で立ち入りを見せていただき内容について報告しなければいけないことだと考える。

# ふるさと納税お札に伊佐米を

市長／検討する  
福本 千枝子 議員



全育成事業、魅力ある観光づくりに使われている。

**問**

長野県阿南町では農家の収益を上げる為、納税のお札として米を送付し、25年度上半期の納税額が1億円を超している。本市でも伊佐米をもっとPRし、農家支援はできないか。

**答**

現在、三つのお札品がある。焼酎セツトが人気であるが、精査して米一点にするか、四ポイントとするか営農組合、J A、個人とあるので今後検討する。

**問**

課名・係名変更で支障はないか。

**問** 本市へのふるさと納税の件数と金額はその用途は何か。

**答** 平成20年度から今年の12月2日まで、1064件の約2636万円である。一番目に子育て、高齢者対策。次に青少年健

**答**

行政コスト削減による効率的な組織機構で、職員が他の係の業務まで精通できる対策を取る。

**問**

ふれあいセンター内の社会教育課と文化会館内の文化スポーツ課が菱刈庁舎へ移るが、社会教育、社会体育、文化教育が低下しないか。又、市民は不自由しないか。

**答**

教育委員会を一ヶ所にまとめることが効率的で職員の資質も高まる。市民サービス向上に務める。



**問**

地元の高校に福祉科があると、高校の存続は勿論のこと、介護福祉士の資格も取得出来る。職場も多くあり、若者が地元に残り、子供も増えて人口減に歯止めがかかると考えられる。県にお願いしていくべきではないか。

**答**

伊佐市内の、県立高校の有り方については、県立高等学校伊佐市検討会議において、地域の様々な方の、ご意見を伺いながら検討していきたい。この会議では、地域の産業や事業所を勘案した学科の創設や、生徒の卒業後の進路等も踏まえた検討を行うっていく。

## 伊佐農林高校に福祉科を

市長／県立高等学校伊佐市検討会議で検討  
左近充 論 議員



鳥獣被害について

**答**

鳥獣被害に関する防止の施設等の整備は、68%の助成だが、今後の県との協議、どういう形の導入ができるのかを、調査、検討していく。

**問**

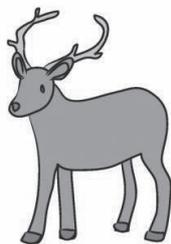
林業植林の鳥獣被害防止助成を。

**答**

県と協議し検討する。

**問**

山を皆伐して新植をしても、鹿が苗を食べてしまう。被害が数多く発生している。個人の所有林を鹿ネットで囲むと、現在、県単で68%を上限とする補助を受けられる。市でも助成の上乗せは出来ないか。



# 空き家活用事業補助金 制度を拡充せよ

市長／制度の見直しに向け取り組んでいく  
前田和文 議員



改正すべきではないか。

**答** コミュニティ構築の面からも、自分の校区内に空き家を改築して住む若者が増えてくれることがこれから必要なことだろうと考える。市外の方の改築実績が増えているので、市内居住者にも適用できるようにする。小規模校区に定着してくれる可能性は高いと考えるので、来年度に向け取組みたい。

**問** 防災などの携帯メールだけでなく、他の方法は検討していないのか。

**答** 全市を網羅した防災無線設備を整備するとしたら、予算はいくら必要か。

**問** 若者の定住を促進するため、長期的な視野に立った施策が求められる。この制度は、将来性のある若者の人口増・少子化対策になっていくのか。現在当市に住む若者世帯に対しても、応援になるような補助金制度の拡充に向け

**答** 合併協議の中で優先順位が一番大きな予算であった。総事業費で12億円から15億円かかる。振興計画等々で予定しているほかのさまざまな事業費の中に、これだけの金額を検討するのは、現在の財政見通しの中では不可能に近

いと考える。



**問** 携帯電話の普及が著しいが、現在の利用分野だけでなく、農政分野、イベント情報配信にも、利用できないのか見解を質したい。

**答** 防災広報には新しくエリアメール方式を採用するが、MBC放送のデータ放送を1週間ごとに更新しているので、イベント、子育ての情報を積極的に利用していただきたい。



**問** 合併協議の中で優先順位が一番大きな予算であった。総事業費で12億円から15億円かかる。振興計画等々で予定しているほかのさまざまな事業費の中に、これだけの金額を検討するのは、現在の財政見通しの中では不可能に近



**問** 地域活性化に向けて、コミュニティ協議会は、どのようにあるべきと考えるか。

**答** スポーツ、環境問題、ゴミステーション問題を取り組んできたこれまでの校区公民館活動に、防犯防災の取組を取り入れたものと考えている。

**問** コミュニティ協議会に移行してから、館の維持管理運営、防犯防災、環境衛生、社会教育主導の諸々の体験活動などを協議会役員で取り組んでいるが、市からの出先機関みたいな行事要請が多い為に、地域活性化に向けた地域活動が難しいので、必須事業を再検討して頂きたい。

## コミュニティ協議会 を自主的に 市長／コミュニティ協議会で協議し進めていただきたい 森田幸一 議員

**問** 市としては最低限の必須事業である。コミュニティ協議会によって温度差がある。見直すつもりはないが各校区で協議を進めていただきたい。

**答** 24年度の申請総件数は597件（大口246件、菱刈351件）、承認件数71件（大口42件、菱刈29件）未承認件数は事業課での対応及び補助事業での対応もある。25年度の申請総件数は611件（大口273件、菱刈338件）



田中校区コミュニティ協議会

むらづくり整備支援事業を積極的に

**問** むらづくり整備事業の、24年度、25年度事業申請総件数と事業承認総件数、未承認件数を大口、菱刈地区毎に伺いたい。

**答** 現時点では、年次的に行っているので増額する考えはない。

**問** むらづくり単位で話し合いをされ申請することが、地域活性化になり、住環境整備のためにも大変に役立つ。予算枠は21・22年度1500万円、23年度から2000万円である。26年度予算を、増額する考えはないのか。

**答** 現時点では、年次的に行っているので増額する考えはない。

# 障がい者福祉サービス について

市長／サービス等利用計画を作成する  
諏訪信一 議員



適切なサービス利用に向け、原則全ての障がい福祉サービス等を利用する障がい者・児について指定特定相談支援事業者が作成するサービス等利用計画、障がい児支援利用計画が必要となる。H27年3月までに利用計画が作成されるよう現在作業中で対象者は329人である。

## 給食での食物アレルギー対策について

**問** 給食での食物アレルギーに対して全国的に再発防止対策が取り組まれているが、食物アレルギーのある児童数、対策、保護者との情報共有、児童への教育、周知等は。

**答** 食物アレルギーの対応については、壁で仕切られた特別調理室で栄養教諭が個々に応じたメニューを作成し、二人の調理員が専属で除去食や代替食を作っている。食物アレルギーのある児童数は幼稚園1人、小学生23人、中学生7人の31人。保護者との

情報共有等については就学时健康診断、入学説明会でアレルギー調査用紙を配布し、調査している。



**問** H24年度決算審査特別委員会の結果をH26年度にどう生かすか。

**答** ・住宅新築資金等貸付金の償還について  
↓公平性を期する意味からも徴収努力をしたい。  
・自殺対策↓自殺予防の啓発、講演会の開催、医療機関と連携し心身の健康相談を実施。  
・各学校に司書の確保を↓財政状況等をみながらH27年度学校再編までに6人を7人に計画していきたい。



# 高熊荘の温泉施設について

市長／校区と継続できないか協議する  
山下和義 議員

**問** 高熊荘の温泉施設について、多くの方々から続けていただきたいと要望をいただいた。この施設の利用者は年間約3万6000人中7割の高齢者である。高齢者にとってこの施設が日常の会話の場になっており介護予防にも役立つと思う。今の状態を継続できないか。

**答** 心情的には残したい。しかし、この温泉の問題はいつ水中ポンプが停止するかわからないということである。行政として計画性が全く立たないことに予算化できるかという問題がある。市民の皆様方のご理解がなければ、事業としてはやるのは難しい。

あるのは理解する。また、執行部としての責任も理解する。ただ、そういう管理等についてコミュニケーション等の地元の方々とは話し合いをしていけば、道は開けるのではないかと思う。利用者の方々のため再検討はできないか。

**答** 可能性はゼロではない。行政は安全を優先するが、今回こういうふうな提案があるので話し合いの場を設定し地域の方々とは協議してまいりたい。

きないのか。



**答** ラグビー等の部の設置の要望等があった場合は、保護者の意見を見無視することなくしっかりと審議をし、次の新設の学校長に伝え検討してもらおう。

**問** 大口中央中学校の再編成で今ある中学校の複数ある楽器が必要でなくなるものもある。その楽器を文化会館に置いて、市民の吹奏楽等が使えないか。

**答** 楽器は大口中央中学校に必要なものを持ち込むことになる。使わないものは菱刈中学校とか各小学校で必要な学校があれば優先的に使いたい。それで余った場合には文化会館と協議する。

## 答

障がい者の方が抱える課題の解決や

## 問

2014年度末までに福祉サービスの利用者全員にサービス利用計画書の作成が義務付けられたが、作業状況と対象人数は。

障がい者の方が抱える課題の解決や

障がい者の方が抱える課題の解決や

障がい者の方が抱える課題の解決や

障がい者の方が抱える課題の解決や

障がい者の方が抱える課題の解決や

# 国保値上げは中止せよ

市長／制度を維持するため値上げは必要  
畑 中 香 子 議員



来年4月からは史上最大の増税といわれる消費税の値上げが行われる中、同時に国保の値上げでは加入者にとって大変な負担増である。この時期に国保の値上げは中止すべきと考えるが市長の見解は。

**答**

値上げをしても19市のうち2番目に低い保険料である。赤字分を加入者に5000万円負担してもらい、一般会計からも1億円繰入を行う。制度を持続していくためである。

**問**

国保は第1条に基づき、社会保障の制度であることが明記されている。制度を維持するために加入者に耐えがたい負担を押しつけるのは間違いである。加入者が払える額を負担し運営していく制度ではないのか。

**答**

第76条で保険料を徴収しなければならぬと規定されており、相互扶助の制度とも言える。理解いただきたい。

**問** 今議会に国保税の所得割、均等割、平等割をそれぞれ引き上げ、モデル世帯で年間3万6000円の値上げとなる議案が提案されている。アベノミクスの影響で電気料金やガソリン代、生活必需品の価格が値上げになり、



教室へのストーブ設置を

**問**

教室へのストーブ設置で学習環境を整えるべきではないか。

**答**

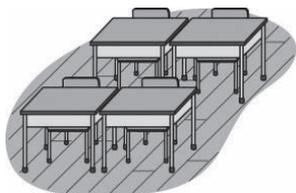
学校の方から必要というときには意見を聞き対応する。

**問**

教育長として必要と考えないのか。行政の責任で設置するべき。

**答**

各学校の状況で異なるので行政ではなく学校長の判断により検討する。



## 26年度の

## 行政キーワードは

市長／雇用・若者・安心・安全をテーマに

鶴田 公紀 議員

**問**

平成26年度の行政キーワードと当初予算規模は。

**答**

雇用・若者・コミュニティ、安全安心をテーマに農業振興を中心とした地域産業の振興、雇用促進、社会資本の劣化及び老朽化に対する分野など予算総額160億円程度と思っている。

**問**

公有財産の有効活用について以下の3点を伺いたい。

- (一) 中央公民館跡地。
- (二) 中学校再編後の山野中、大口南中跡地。
- (三) 汚泥再生処理センター移設後の跡地。

**答**

中央公民館跡地は活用する予定はない。中学校跡地は就学中なので

在校生、保護者の感情等を勘案し現段階で本格的な議論する時期でない。衛生センターは現在稼働している。今後有効活用方法を考えた

い。

総合振興計画関連について

**問**

総合振興計画の進捗状況と集中改革プランで平成25年度までに庁舎建設を見据えた事業計画を決定するとあるが経過は。

**答**

平成26年度に検討委員会を立ち上げ方針や詳細について検討していく。

**問**

課設置条例の行政改革推進体制で改革の進捗状況を市民の代表者からなる行政改革推進委員会に報告し市民の意見や提



**答**

行政改革大綱の最終年度に再度委員を任命し、報告や審議をいたすべくと解釈していた。意見を聞いていなかったことは反省しなければと思う。

# 意見交換会へのご参加ありがとうございました

意見交換会は、11月11日から20日に計15カ所のコミュニティで開催し、参加者295人でした。交換会はみなさんに議会の役割や活動内容を直接お知らせして理解を深めていただくとともに、地域の諸課題等について意見交換を行うことにより、身近で開かれた議会となるように行うものです。市に対するものは、議会として調査し、その結果を掲載させていただきました。なお、紙面の関係で各校区2問ずつ掲載しております。ご了承ください。

問 ↓ 市民の質問      結果 ↓ 議会で調査した結果



本城校区会場

## 【アンケート回収率】

54.24%

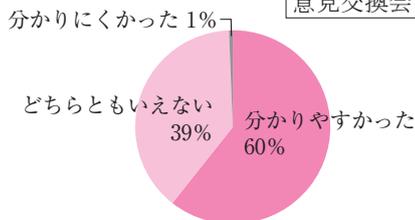
- 男性 129人
- 女性 27人
- 未回答 4人

計160人

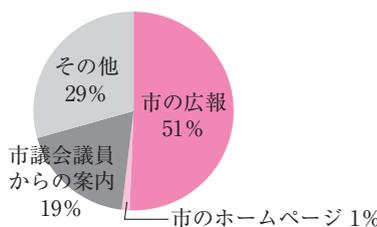
## 【年齢】

- 30代 4人
- 40代 16人
- 50代 29人
- 60代 79人
- 70代 31人
- 80代 1人

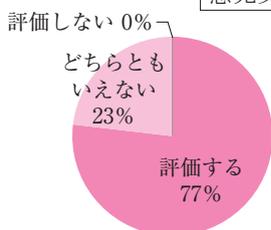
### 意見交換会内容



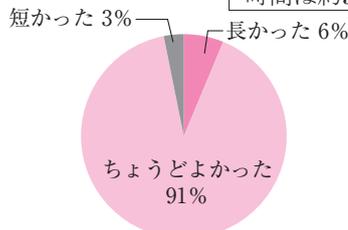
### 参加のきっかけ



### 意見交換会の評価



### 時間は約90分



## 大口東校区



問 市道目丸水ノ手線（さくら会館の通り）の整備はできないか。

結果 交通量が多いため整備の必要性はあると思うが、地域自治会（むらづくり）からの要望及び沿線地権者などの同意が必要です。

問 民生委員の人数不足、活動費などの問題は。

結果 活動費の増額、福祉協力員や地域の見守り活動の推進等により活動環境を整備してまいります。

## 羽月北校区



問 災害時の避難所が小学校であるが、道路の幅員が狭い。また、市道にかか

る立木の伐採もむらづくりで要望しているが改善されない。

結果 道路の幅員改善については、地権者の同意が必要であるため中長期的な計画となります。また、立木の伐採は数多く要望があるため追いつかない状況です。地域で所有者の承諾を得て頂ければ早めの対応が出来ると思います。

**問** 新堆肥センターの臭

気がひどい。対策が必要。

**結果** 時期的なものもあつたようですが、脱臭に気を付けるように指導していま

す。く自前で「まちゼミ」のイ

ベントを開催しています。

自ら必要なことから取り組まなければならぬと考えます。

**問** スポーツイベント

(桜カップ) 公共施設の利用開放と減免措置の要望。

**結果** 伊佐市体育協会加盟

団体が主催する大会については、半額免除となっております。

## 大口校区



**問** 空き店舗の活用で人

通りが多くなる施策は。(商店街活性化対策)

**結果** 国のソフト・ハード

事業は準備されています。昨年ひとつの通り会が活性化事業に取り組みましたが、身の丈に合った活動から始めたいと、補助事業ではな

事補助金事業があります。

## 山野校区



## 本城校区

**問** 95歳の年齢では生ご

みを、ゴミ置き場まで持つていけない。どうにかならないか。

**結果** ごみ置き場の管理に

ついては、各自治会にお願いしています。今後は、高齢化により検討の必要があると考えます。

**問** 空き家対策、解体助

成はあるのか。**結果** 危険廃屋解体撤去工

**問** 山野基幹集落セン

ターの石垣に草が生えているので生コンを吹き付けてもらえないか。

**結果** 指定管理者と対応を

協議していきます。

**問** 人口減対策について

は、あてにならない企業誘致ではなく、足元を見つめた対策を取ってはどうか。

農業から見ていくとよい。

新規参入のバックアップが必要。

**結果** 新規就農者の育成に

ついては次の事業を実施中です。

①新規就農支援事業

②青年就農支援

## 湯之尾校区



**問** 当初予算の審議につ

いては、議会全体で行なうべきと考えるがどうか。

**結果** 委員会主義を取って

おりますので、まず、総括的な質疑を本会議で行ない、細かいものにつきましては、各常任委員会で十分な審議を行なう取扱いになってお

ります。

**問** 伊佐市の一人あたりの医療費の状況を見ると、

医薬調剤費は県下で上から2番目の高さとなっている。ジェネリック医薬品への切り替えを本気になって進めるべきだ。

**結果** 保険証の更新時や高齢者受給者証の交付式の際に、本市の医薬調剤費が高いことなどの説明やジェネリック医薬品を推奨するために保険証にジェネリック

医薬品へ切り替える意思表示のためのシールを貼るなどお願いし、ジェネリック医薬品切替えを推進していきます。

## 平出水校区

**問** 文化財や史跡の環境

整備が必要。

**結果** 整備内容を十分検討し、地域と行政が行なうことなど整理し、文化財の維

持管理を進めていきます。



**問** 鳥神山登山道の整備

推進を。

**結果** 現在、現地踏査及び要望箇所は概ね把握していますが、事業化に当たっては森林所有者の合意形成が必要となることから、検討中でありま

## 針持校区

**問** 防災無線の設置につ

いて、小さな自治会が設置

すると大きな自治会よりも一戸当たりの負担が大きくなる。一戸当たりの負担が

同じになるように補助金の制度を見直す必要があるのではないか。

**結果** 今後、検討も必要と考ええます。



**問** 川内川流域の保護区、禁猟区の解除を県に要請してほしい。

**結果** 今後、地域での話し合いや調査をして県に要望していきます。

## 羽月校区

**問** 交通弱者、買物難民対策として、コミュニティ協議会を利用できないか。

**結果** 地域により実情が違

うので、各コミュニティ協議会の意見をお伺いしながら検討していきます。

**問** TPPや減反政策廃止など農業経営が不安になる。米と畜産等の連携対策を。

**結果** 水田活用の直接支払交付金で、WCSに対する補助等行っています。



## 田中校区

**問** 伊佐市の事業に、中高校生を受け入れるツーリズム事業がある。4人の議

員は受け入れると聞く。市が一生懸命やっている事業だと思う。議員の方々も受け入れていただく、あるいは近所の人たちに呼びかけをしていただく等の努力をされるべきだと思う。側面的な協力がなされているか。

**結果** ありがたいご意見を頂きました。全く、その通りだと思えます。現状としては、ツーリズムに対する議員の意識は低いです。ただ、どう協力できるかが判らないという面もあるかかと思えます。今後議員はどうすべきかを真摯に討議致します。

**問** 校区公民館活動からコミュニティになって、行政の優先機関化している。役員負担が重くなり大変だ。市職員は無関心・非協力的な方が多い。市職員は、コミュニティ活動を理解し、積極的に活動に参加してい

ると思えるか。議会・行政・市民が一体となりコミュニティを盛り上げるべきだ。官民一体となったシステムを創って頂きたい。議会の考えは。



**結果** 少子高齢化が進んでおり、地域に住む全ての方がコミュニティ活動を理解して、出来る範囲内で活動に参加するように、各コミュニティ協議会と検討します。

議員の負担が重くなり大変だ。市職員は無関心・非協力的な方が多い。市職員は、コミュニティ活動を理解し、積極的に活動に参加してい

ただき議会でも検討を重ねて、両面から解決の道を見出したいと思えます。市職員の方々にコミュニティ活動にも積極的に参加するよう要望していきます。

## 牛尾校区



**問** 牛尾小正門前から下牛尾までの市道が狭く、薄暗い。拡幅の要望を何度も出しているが、何故できないか。

**結果** 過去、地権者の同意

が得られなかった経緯があると聞いています。地権者

の同意書を提出していただきたく思います。

**問** 高熊荘は、3月閉鎖と聞いている。跡の建物の利用についてコミュニティ協議会と協議し、公民館等として利用できるようにして欲しい。

**結果** 温泉井戸が途中で閉塞しており、復旧もできない状態です。新たな温泉井戸の掘削には多額の費用が必要となるため、温泉施設の閉鎖を検討しましたが、温泉井戸等の状況をみながら当分の間は営業を続けていく予定です。

## 南永校区

**問** 小規模校入学特別認可制度による通学費補助金が、H26年3月で無くなるので復活してほしい。

**結果** 補助金については、要綱を見直し、期間限定で継続する予定です。このこ

とについては、議会としても陳情を採択しています。



**問** 道の駅、農産物販売所等をまごし館の周辺に作れないか。国、県の補助があるはず。

**結果** 25年度にアンケート調査を行いました。物産館建設のアンケートによると、様々な解決すべき課題があり、今後検討が必要であります。

## 羽月西校区



**問** 国保税の抑制策及び病気の予防など課題に取り組んでほしい。

**結果** 国保における病気の予防、医療費の抑制については、平成20年度から特定健診・特定保健指導が実施され、生活習慣病（高血圧、脂質異常症、糖尿病）の特定とその改善を重点的に実施してきています。循環器系の疾患（脳卒中、心臓病、糖尿病）の多い本市においては、引き続き健診の受診促進と市民健康づくりを進

めていきます。

**問** 学童保育を実施しているが、発達障がい児にたいする対応など、子どもの実情に合わせた加配を検討してほしい。

**結果** 現在でも障害者手帳を所持するなどの条件を満たせば加配の対象（H25年4月に事業者へ説明済み）となりますが、申請はありません。手帳を所持していないが発達に課題のある児童は、各児童クラブごとに対応してもらっている現状です。そのため、来年度から発達障がい等についての研修会を実施することを検討しています。

## 曾木校区

**問** 湯之尾と曾木の高低差は5.5mしかない。浚渫工事をしてほしい。

**結果** 川内川河川事務所では全体計画の中で、現在も

部分的な浚渫工事を行っています。



**問** 九州で流域面積2番目の川内川を活用しなければならぬ。チヌジのり、曾木の滝、鶴田ダムを活かした観光をすべきである。

**結果** 整備事業の最中で活用できていないが、関係機関と連携して活用していきたい。

## 菱刈校区

**問** 水道料金が低い。また、ごみ袋が湧水町に比べて高い。デザインよりも安

い方がよい。

い方がよい。

**結果** 水道料金については、平成20年度の合併時に合併協議会で審議し、旧大口市の料金に統一することで承認してもらい、その後平成20年12月議会で議決され平成21年4月1日より現在の料金体系になっております。水道課としては、議会の議決後に、旧菱刈町の水道使用者に対しチラシを配布し、その後平成21年2月に使用者の該校区で説明会を行なっています。合併後5年が経ち、水道事業・水道料金についてもご理解いただいているものと思っております。

**結果** 整備事業の最中で活用できていないが、関係機関と連携して活用していきたい。

ゴミ袋の販売代金には、ごみの収集手数料が含まれていますが、デザインと価格は特に関係ありませんのでご理解ください。

**問** 菱刈の市街地を通行する大型自動車については、夜間全面規制することは出

来ないか。規制が出来ないのであれば、夜間の取り締まりの強化と監視カメラの設置を急ぐべきだ。以前にも色々な所をお願いしたが、全く進展していない。急いで実態調査をしてほしい。



意見交換会に関するお問い合わせは  
議会事務局へ  
ご連絡ください。

☎ 23 1335

# 議会

## インターネット中継を 視聴して



山口 満男さん

伊佐市議会は市民に最もよく見え、市民が参画できる議会運営の推進を目指してインターネットを利用した議会中継をしています。すばらしいことではありますが、以前は、たまに議場で傍聴しておりましたが、今は家にいて、いつでも好きな時に見られますのでありがたいです。

さて、12月議会は12月10日から12日までの3日間に一般質問があり、14人の議員さんがそれぞれ質問されていました。市政全般にわたり白熱した質問などもあり、市長をはじめ執行部のみなさんも一生懸命に答弁されていました。

感じたことは質疑の最中に他の議員の意見(野次)がどの程度飛び交うかなどと思っていたらそのような場面はありませんでした。カメラを過剰に意識する必要はないと思いますが、ネットを通じて視聴して下さる方々に自分の意見や提案をしっかりと届けるため、その場の臨場感や緊張感を少しでも感じてもらいたいという質疑問や討論を行ってほしいと思いました。

パソコンとインターネットに接続できる環境があれば、誰でも議場に行かなくても本会議を見る事ができますので、皆さんも市政参画や議会活動を守るためにも視聴してほしいと思います。

### 平成26年 第1回定例会のお知らせ

○定例会は午前10時開会です。

#### 2月

20日(木)	本会議(招集日)
27日(木)	本会議(2日目)総括質疑
28日(金)	総務産業委員会

#### 3月

3日(月)	総務産業委員会
4日(火)	文教厚生委員会
5日(水)	文教厚生委員会
10日(月)	本会議(3日目)一般質問
11日(火)	本会議(4日目)一般質問
12日(水)	本会議(5日目)一般質問
20日(木)	本会議(最終日)

議会中継を自宅等のインターネットでも視聴できます。  
(市議会の生中継や録画を映像配信しています)

【伊佐市ホームページ】



【伊佐市議会】



【議会インターネット映像中継】

大口庁舎・菱刈庁舎・  
ふれあいセンター・まごし館では  
議会ライブ中継をご覧になれます。



編集・発行責任者

議長  
丸田和時

議会広報等

特別委員会

委員長

久保教仁

副委員長

森山良和

委員

今山岩 柿木原  
村下元 榮一  
謙和克 義頼  
作義頼 一

## 編集後記

平成26年が幕を明け、市民の皆様も新たな気持ちで、新年を迎えられた事と思います。

この「議会だより」が出るころは、2月のなかばですが、改めまして、新年あけましておめでとうございます。我々、議会も市民の皆様に「議会を身近に感じていただきたい」と思い、昨年より、「見える、きける、わかる、伊佐市議会の実現に！」という事で、一般質問の内容を、事前にお知らせをして、多くの皆様に議会傍聴をしていただいております。

また、「議会改革調査特別委員会」を設置し、各コミュニティとの意見交換会も実施することができ、市民の皆様より、貴重なご意見、ご要望をいただきまして、大変、感謝しております。さまざまなお意見等、我々議員もそれぞれに、勉強し、市制に反映して行きますので、これから、よろしくお願い致します。

この「議会だより」も、もつと、皆様にわかりやすくなるようにと思い、切磋琢磨いたしております。最後になります。この伊佐市が、ますます発展し、暮らしやすい街になるように、我々議会も、努力してまいります。すべては、「伊佐のために」。

皆様にとって、本年も輝かしい年になりますように。

議会広報等特別委員会

今村 謙作

